

令和 4 年度事業の進捗状況について

1 防災学習ネットワークに関する情報発信

(1) パンフレットの作成

防災学習ネットワークパンフレットについては、市内印刷業者と市パンフレット作成業者 8 者に関係書類（見積書及びデザイン案）の提出を依頼したところ、2 者から関係書類の提出がありました。提出された関係書類を基に庁内で審査した結果、下記のとおりとなりました。

現在、パンフレットの記載内容等については、業者選定に係る審査員や施設管理者等からの意見を踏まえ、受注業者と協議しながら作業を進めています。

①大船渡市防災学習ネットワークパンフレット作成業務

- ・受注業者 川嶋印刷株式会社
- ・納入期限 令和 5 年 3 月 24 日（金）
- ・仕様等 ・ A 3 サイズ・ 2 つ折り＋巻 3 つ折り（DM 折り）
・ コート紙・ 90 kg
- ・部数 10,000 部

(2) ホームページ等による情報発信

市ホームページに前回会議の資料や各施設の紹介資料などのほか、3.11 伝承ロードに新たに登録された大船渡市魚市場と大船渡市防災学習館の情報について掲載しました。

2 防災学習ネットワーク関連施設等の利用促進

(1) 小・中学校での活用促進

小学校から出前授業への講師依頼があり、下記のとおり出前授業に対応しました。

①出前授業

- ・大船渡北小学校（11 月 28 日実施）

4 年生の出前授業に対応したところであり、東日本大震災津波による被害状況や災害対応状況のほか、復旧・復興の様子、災害への備えなどについて説明を行いました。

- ・赤崎小学校（12 月 9 日実施）

4 年生の出前授業に対応したところであり、東日本大震災津波による被害の様子や災害時の情報発信の方法、自主防災組織の役割などについて説明を行ったほか、赤崎小学校の敷地内にある防災備蓄倉庫の見学を行いました。

(2) モデルコースの作成

モデルコースについては、市内半日コース、1 日コースとして、別紙 1 のとおり作成しました。モデルコースが完成した際には、市ホームページに掲載することとします。

3 震災の記憶や教訓等の記録・保存

(1) 大船渡市防災学習アーカイブスの充実

大船渡市防災学習アーカイブスについては、コンテンツの充実を図るため、新たに 13 件を登録しており、引き続き登録件数 50 件に向けて登録作業を進めます。

(2) 3.11 伝承ロードへの登録

今年度は、防災学習ネットワークの主要な施設である大船渡市防災学習館と大船渡市魚市場展示室を登録することとし、施設登録に係る申請書を窓口である岩手県（復興防災部復興推進課）に提出しました。

令和 5 年 1 月 31 日に震災伝承ネットワーク協議会が開催され、大船渡市防災学習館（第 2 分類）と大船渡市魚市場（第 3 分類）が追加登録されました。

また、すでに登録済みの大船渡市立博物館（第 3 分類）については、ホームページに掲載している施設概要が一部変更になったことから、掲載内容の修正をお願いしました。

※大船渡市の登録状況（25 件）

第 1 分類 13 件（津波石碑 13 か所）

第 2 分類 10 件（大船渡市民体育館前屋外時計、潮目、茶茶丸パーク時計塔、夢海公園、ど根性ポプラ、津波警報塔、津波記憶石第 26 号、津波記憶石第 27 号、大船渡市防災学習館、震災伝承看板「津波の教訓を活かした粘り強い防波堤（大船渡港湾港防波堤）」）

第 3 分類 2 件（大船渡市立博物館、大船渡市魚市場）

4 施設・団体等の連携

(1) 施設・団体間の調整

①「東日本大震災語り部シンポジウム かたりつぎ～朗読と音楽の集い～」への協力（令和 4 年 7 月 21 日開催）

東北大学災害科学国際研究所・かたりつぎ実行委員会が主催・市が共催として、三陸公民館で開催されました。開催に当たり、事務局でも公共施設へのチラシの配布やイベント会場準備の手伝い、当日の受付対応などを行いました。

②「大船渡津波伝承館未来シンポジウム」への協力（令和 5 年 3 月 4 日開催予定）

令和 5 年 3 月 4 日に開催予定のイベントで、主催者である一般社団法人大船渡津波伝承館から、小学校（5・6 年生）・中学校（1～3 年生）へのチラシ配布（約 1,200 枚）の依頼を受け、1 月 27 日付けで各学校にチラシを配布していただくようお願いしました。

5 その他

(1) ゲートウェイの役割

コーディネート業務の移行については、おおふなぼーとの指定管理者である一般社団法人大船渡市観光物産協会と1回協議を行ったところであり、今後業務内容などを示しながら、引き続き協議を行います。

(2) 大船渡市防災学習館の運営方針

漁村センターの指定管理者である赤崎地区振興協議会と防災学習館の運営に当たって、施設管理の内容や来館者があった際の館内案内などについて協議を行ってきたところであり、協議の結果、下記委託業務を締結し、各業務を開始しています。

また、館内の案内を行うに当たりましては、初めての方でも館内の案内ができるように説明原稿を作成しました。

①管理運営業務

防災学習館の円滑な管理運営を図るため契約を締結したものであり、業務内容は、防災学習館の予約受付、清掃、照明器具や展示機器などの管理、消耗品等の補充などを行うこととしています。

②館内ガイド業務

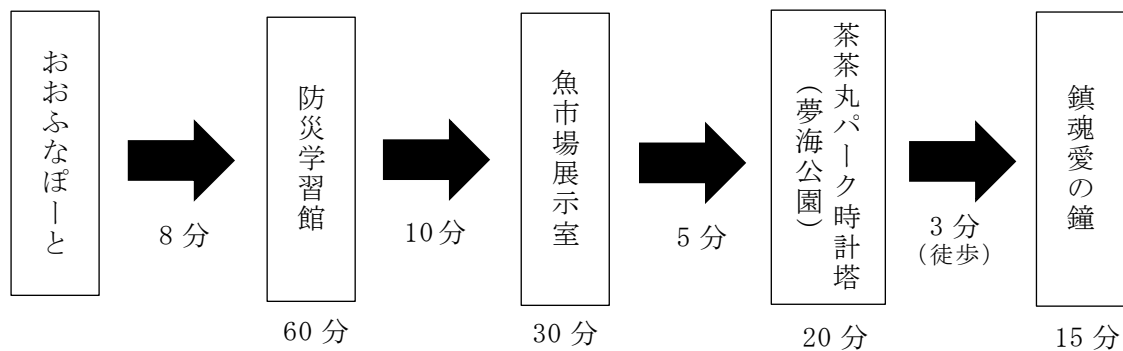
来館者に対して、震災の経験や教訓や自然災害の備えなどについて伝え、防災・減災に関する知識の普及と意識の啓発を図るため契約を締結したものであり、業務内容は、来館者の案内・展示物等の説明となります。

(3) 津波伝承施設等の視察

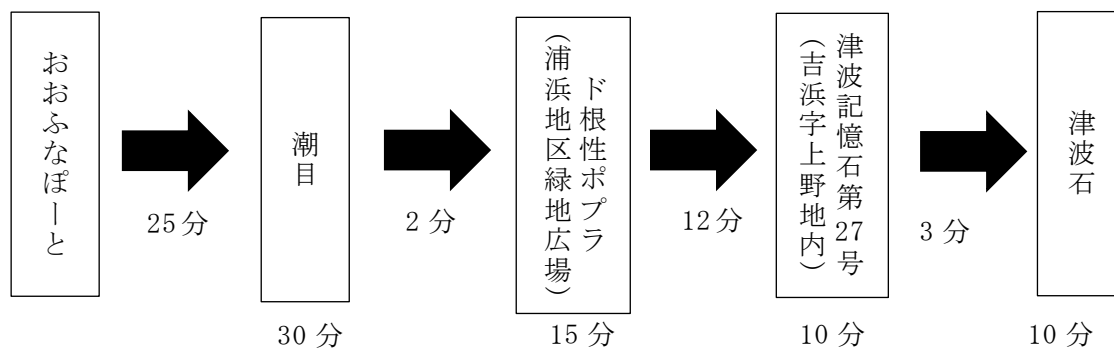
3月に実施することで予定し、場所は、釜石市のいのちをつなぐ未来館、大槌町文化交流センター（おしゃっち）の視察を考えています。

大船渡市防災学習ネットワークモデルコース

1 大船渡エリア半日コース（自家用車）【所要時間：約 2 時間 30 分】



2 三陸町エリア半日コース（自家用車）【所要時間：約 2 時間】



3 市内 1 日コース（自家用車）【所要時間：約 7 時間】

